

事業番号	06 06 04	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	廃棄物監視指導事業費	部局	環境部	課・室	資源循環推進課	
		実施期間	S46 ～	E-mail	junkan@pref.nagano.lg.jp	
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係						
政策の柱	持続可能で安定した暮らしを守る					

1 現状と課題

- ・不法投棄の発見件数は未だ年間2千4百件弱あり、また、廃棄物の排出事業者や処理業者等による不適切な処理が見られる。
- ・このため、引き続き立入検査等を効果的かつ適切に行い、不法投棄等不適正処理の防止に取り組む必要がある。

2 事業目的

排出事業者及び処理業者に対する監視指導を行うことにより、廃棄物の適正処理を推進して、安心・安全な生活環境を確保する。
また、市町村等と連携した監視や防止活動により、不法投棄の減少を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

① 廃棄物の不適正処理防止

- ・廃棄物の適正処理の確認・指導のため、産業廃棄物関係事業者等への立入検査、夜間監視、産業廃棄物収集運搬車両点検等を実施
- ・広く情報収集するため、不法投棄ホットラインを設置

② 不法投棄監視連絡員の配置

- ・住民との連携による広範囲、きめ細やかな情報収集等早期・適切な対応を図るため、全県下に100名の不法投棄監視連絡員を配置



産業廃棄物収集運搬車両点検

③ 市町村職員への併任

- ・市町村との連携・情報交換を密にして対応を図るため、市町村職員に産業廃棄物処理業者等への立入検査権を付与

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値			
①	立入検査数	件	8,196	7,508	↘	6,000	↘	6,370	監視体制に変更がないため、R4年度の立入計画件数と同じ6,370件を目標とする
②	監視連絡員によるパトロール	時間	12,504	12,808	↗	12,000	↘	12,000	監視連絡員100人×10時間×12月により、12,000時間を目標とする
③									

5 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		19.0
	(要求)		57,960		57,960	31,766	
R4年度	0	49,492	0	49,492	24,725	44,334	19.0
R3年度	0	49,001	0	49,001	24,573		19.0

事業番号	06 06 04	細事業一覧（令和5年度実施事業分）		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	廃棄物監視指導事業費		部局	環境部	課・室	資源循環推進課

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
1	廃棄物監視指導事業費		49,001 千円	49,492 千円	(予算案) (要求) 57,960 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	廃棄物指導員の配置	直接	廃棄物の監視業務の適正化、効率化を図るため、佐久、上伊那、松本、長野地域振興局に廃棄物指導員（警察OB等）を配置 廃棄物指導員8名、立入件数6,370件			
2	不法投棄監視連絡員の配置	直接	住民との連携による広範囲、きめ細やかな情報収集等早期・適切な対応を図るため、全県下に不法投棄監視連絡員を配置 不法投棄監視連絡員100名、パトロール12,000時間			
3	廃棄物不適正処理防止対策	直接	・廃棄物の適正処理の確認・指導のため、産業廃棄物関係業者等への立入検査、夜間監視、ドローンによる上空監視等を実施 ・広く情報を収集するため、不法投棄ホットラインの設置【24時間受付】 立入件数6,370件、夜間監視36日、ドローンによる監視12件以上			